

ユネスコスクール通信 No.3

宮城教育大学国際理解教育研究センター 2015年2月発行

第3回目は、「ESDに関するユネスコ世界会議」・ステークホルダー会議の一環として2014年11月に岡山市で開催された「ユネスコスクール世界大会・全国大会」において採択された「ESD推進のためのユネスコスクール宣言」(ユネスコスクール岡山宣言)をご紹介します。

◆「ユネスコスクール宣言」(岡山宣言)が採択される!

国連・ESDの10年(DES)の最終年にあたる昨年11月に、岡山市で開催されたユネスコスクール世界大会・全国大会で、「ESD推進のためのユネスコスクール宣言」(ユネスコスクール岡山宣言)が採択されました。これは、全国のユネスコスクールの実践や教員及び専門家等の意見をもとに、これまでの取組の成果を踏まえ、今後の展望を見据えて、ESDの10年を越えてESDのさらなる推進に向けたユネスコスクールからの宣言として提案され採択されたものです。

【ユネスコスクール宣言の骨子や特徴】

<宣言の枠組み>

1. 日本のユネスコスクール教職員を中心とする教育現場からの宣言
2. 日本のユネスコスクールのこの10年の経験に基づきながら、ローカル、ナショナル、グローバルな視点も盛り込んだ宣言
3. この10年の成果と課題を共有し、誓いと提案を描いた宣言

<宣言の対象>

1. 国内のユネスコスクール自身にむけて(児童生徒、教職員)
2. 世界のユネスコスクールにむけて
3. ユネスコスクール以外の学校にむけて(国内)
4. ユネスコスクールを取り巻く地域および国の政策決定者にむけて
5. ユネスコ(国内委員会・パリ本部)にむけて

<宣言の構成>

1. 「私たちにとってのESD」
2. 日本のユネスコスクールによる「国連ESDの10年」の成果
3. 日本のユネスコスクール：
私たちのコミットメント(誓い)
4. 学校によるさらなるESD推進：
ユネスコスクールからの提案

<宣言の3つの特徴>

1. 日本のESDの特徴として「つながり」を重視していること
2. 日本の「教育を変えていくビジョン」としてESDを捉えていること
3. 持続可能な未来をつくる「変化の担い手」として子どもと教師を捉えていること

Okayama Declaration of the UNESCO Associated Schools in Japan Promoting Education for Sustainable Development (ESD) beyond the United Nations Decade of ESD

What ESD means to us

*I am connected to you, to everyone at school, to everyone in the community, an inclusive community, and to everyone in the world.
Therefore, even though you may be hidden from my view, recognizing the value of my role in encouraging each other and supporting each other makes me want to do something.
My world extends from the classroom to the schoolyard, from the schoolyard to the community, from the community to my country, from my country to your country, and then further to the world and to the Planet.
Therefore, recognizing that precious living treasures are present everywhere, makes me want to do something.
Connectors with the past, with tomorrow and with the distant future. Now, I am connected with the past and with the future.
Therefore, recognizing that I should bear an important responsibility amidst this long passage of time, makes me want to do something.*

Based on a message from teachers describing their perceptions of student transformation at a UNESCO Associated elementary school.

Incorporating the ESD vision will lead to the creation of various connections within children's learning - connections between themselves and other people, as well as with the diversity of the world, the living earth, nature, science and technology, culture, the past and the future. Amid such connections, learning will deepen and survive in the hearts of children, and it will support the creation of a sustainable future. This support will be in the form of power to invoke action and collaboration, and the ability to continue inquiring and learning.

Outcomes of the UNESCO Associated Schools in Japan under the UN Decade of ESD

In 1953, UNESCO launched a programme to realize its ideals in schools around the world. Schools in Japan have participated in the programme from the outset. In Japan, the Course of Study (National Curriculum Standard) and the Basic Plan for the Promotion of Education incorporate the ideas of constructing a sustainable society and promoting ESD. UNESCO Associated Schools in Japan were positioned as bases for promoting ESD in accordance with the Proposal regarding the effective utilization of UNESCO Associated Schools for the promotion and dissemination of Education for Sustainable Development (ESD) (February 2008) by the Japanese National Commission for UNESCO. Through the ESD vision, and by virtue of teachers who empathize with the objectives of UNESCO Associated Schools Project Network

日本のユネスコスクール: 私たちのコミットメント(誓い)

私たちは、日本の教育を変えていく原動力として ESD をこれからも進めていきます。

- 私たちは、持続可能な未来のために、身近な地域に貢献するとともに、グローバルな視点に立って行動する次世代を育みます。
- 私たちは、平和、環境、気候変動、生物多様性、国際理解、多文化共生、エネルギー、人権、ジェンダー、防災、文化遺産、地域学習、持続可能な生産と消費等、学びの入り口やテーマが何であれその先に地域、国、アジア、世界の平和と持続可能性を見据えて、地域の人々をはじめ多くの人たちと協働しながら、つながりを意識した教育を実現します。
- 私たちは、ESDの本質を理解するとともに、ESDの魅力を広く社会に伝えるため、児童生徒の変容、教師の変容、学校・地域の変容を明確に示します。
- 私たちは、気候変動、生物多様性、防災、持続可能な生産と消費など、国境を越えたグローバルな課題について理解し、解決方法をさぐり、解決に向けてともに取り組んでいく国内外のユネスコスクール、特に近隣のアジア諸国のユネスコスクールとのテーマ学習・協働学習に取り組みます。
- 私たちは、互いに学びあい、活動の質を高めていくために自発的に組織されるユネスコスクール同士の全国ネットワークをつくります。そして、ユネスコスクール間の交流や協働を推進し情報交換・活用の仕組みを充実させます。
- 私たちは「変化の担い手」として子どもと教師を捉え、地域社会における持続可能性の実践者となるように努め、他の学校、社会教育・生涯学習機関、NGO/NPO、自治体など多様な主体とともに、持続可能な地域づくりに貢献します。
- 私たちは、さまざまな主体との対話と連携を通して、「国連 ESD の 10 年」の後継プログラムである「ESD に関するグローバルアクションプログラム (GAP)」の5つの優先行動分野をつないでいきます。
- 私たちは、世界 181 の国にひろがるネットワークの一員として、ESDに取り組み、持続可能な未来をともに築いていくことを、そしてそのために、さまざまな交流と連携の機会をつくって学びあうことを、日本と世界のユネスコスクールに対して呼びかけます。

学校によるさらなる ESD 推進: ユネスコスクールからの提案

ESD の推進拠点としてのユネスコスクールの経験、成果と課題にもとづき、私たちのコミットメントをより良く実現するために、また、ESD をユネスコスクール以外の学校へ、地域へと持続的にひろげていくために、ユネスコスクールとすべての学校、その支援者に向けて、以下を提案します。

- 教師や子どもたちの主体的な発意やアイデアを尊重し、創造的な授業づくり、教科横断的で探究的な教育課程づくりによって学校全体で ESD をすすめる。
- ESD を通した子どもたちの学びの質や育ちを内発的に評価する方法など、ESD の成果をモニタリング・評価するための方法を検討し、共有する。
- 各学校のESDを持続的に支える政策や制度をつくり、また校長のリーダーシップがESDの特徴をいかした形で発揮できる基盤を整備する。
- 教師や教育関係者が自らの専門性を生かしながらローカル／グローバルな視野で持続可能性についての認識を深めるための研修制度を拡充させていく。
- 地域において、学校を含む多様な主体が持続可能な社会づくりに参加し連携・協働できる仕組みをつくる。

※ユネスコスクール宣言の全文は、文部科学省の以下のサイトでご覧になれます。

http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/result/pdf/Aichi-Nagoya_Declaration_school_ja.pdf